

逆走・誤進入検知警告システムの運用を開始します

～高速5号万場線 黄金入口～

名古屋高速道路公社では、これまで高速出入口部や本線合流部への看板設置、路面標示等により重大事故につながる可能性の高い逆走・誤進入対策を実施してきましたが、未だ車両の逆走や高速道路への誤進入は増加傾向にあります。

このことから、少しでも逆走・誤進入を早く検知して迅速に対応できるよう、**3D LiDAR**を用いた**逆走・誤進入検知警告システム**を導入し、2024年5月15日（水）から高針出入口にて運用を開始しております。

この度、高針出入口に続き、黄金入口に同システムを導入し、令和8年10月19日（月）から運用を開始いたします。

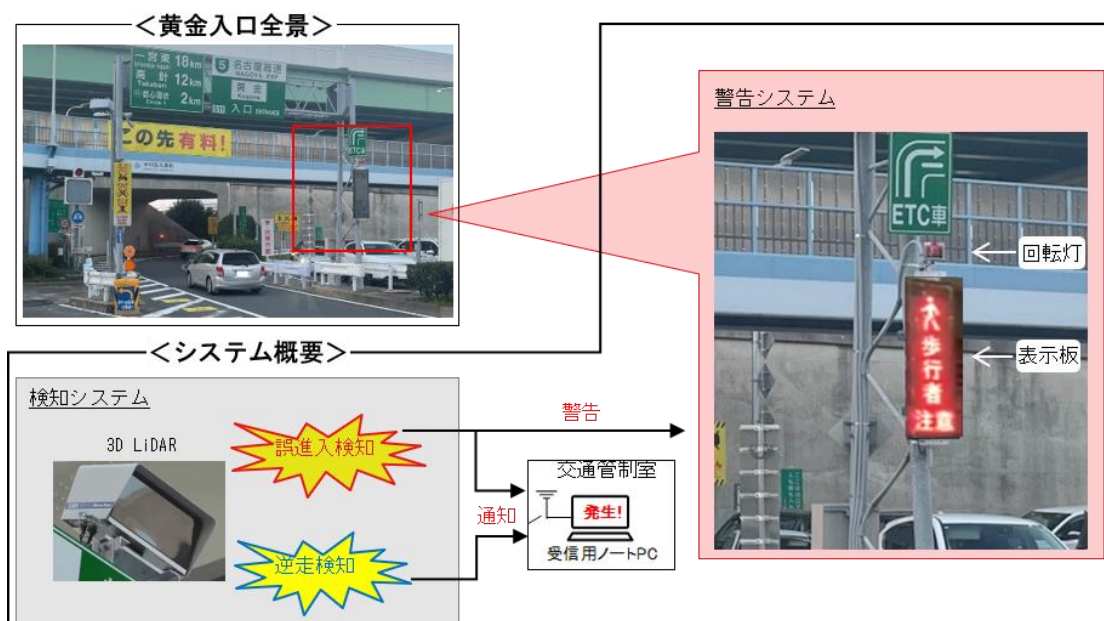
1. 導入箇所

高速5号万場線 黄金入口

※誤進入の発生件数が多い箇所を選定

2. 逆走・誤進入検知警告システム

3D LiDARにより車両の逆走を検知した時、既設情報板により他の走行車両に注意喚起を行います。また、歩行者、自転車、原付等（125cc以下の自動二輪車）の進入を検知した時、自動で**LED表示板・回転灯**が作動し、歩行者、自転車への警告及び後続車両への注意喚起を行います。



逆走・誤進入発生状況（件）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
逆走	車両	5	2	5	5	4	21
	歩行者	2	2	2	3	5	14
	自転車	2	3	1	1	1	8
	原付等	2	6	8	5	8	29
合計		11	13	16	14	18	72



位置図